

韌(うつぶ)公園篇

いつも順造選カタログをご覧いただき、ありがとうございます。普段皆さまと面と向かってお話できない私たち順造選スタッフは、もっと気軽ににご相談に乗れる存在になりたいとずっと感じてきました。その第一歩として、馴染みの地域や、気になる感心事、思い出話などを皆さまと共有し楽しめるコーナーを始めました。初回は私たちの事務所からすぐ近く(徒歩2分!)の韌公園をご紹介します♪

「うつぶ」の名づけ親は豊臣秀吉!?

かつて魚市場や塩干魚問屋街として栄えていたこの地域で魚商人たちの「安い、安い!」という掛け声を聞いた秀吉が、やす(矢集)、別名「韌」という矢を入れる道具を連想し洒落を言ったことから、「韌(うつぶ)」という地名が付けられたそうです。

1931年に大阪中央卸売市場ができるまで市場として賑わい、その後も商いは続けられました。



細長い形は滑走路があったから!?

1945年3月13日の大阪大空襲で焼け野原となり、終戦後約6年間は進駐軍の連絡飛行場として利用されました。東西に細長い形は滑走路の名残だったので。返還後、区画整理により

1955年10月に韌公園として開園し、今では緑豊かな都会のオアシスとして私たちが癒してくれています。



5000人を収容できるテニスコート! 昨年9月にはあの錦織圭選手も試合をされました!

6 ケヤキ並木 GOAL

木漏れ日が心地よく、晴天の日にはスタッフがここでお弁当を食べることも♪

5 バラ園

ジャーン!

5月、10月には約170品種・3400株ものバラが咲き誇り今年もキレイに咲きました

4 噴水

大阪市内にいることを忘れるほど自然豊かで広々とした公園です♪

3 永代浜跡

かいふぼり
1624年に開削された海部掘川の海産物荷揚げ浜として賑わったそうです。

2 楠永神社

海産物市場があった頃から立つ樹齢300年の楠がご神木として祭られています。

1 大塩平八郎終焉の地碑 START

武士・農民を率いた反乱の後、潜んでいた所を包囲され自害したそうです。